

つながり



2014.1.31
VOL.13
独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター



TEL 0748-22-3030

FAX 0748-23-3383

編集:情報サービス委員会 広報部会

2014年新年挨拶

院長 井上 修平

明けましておめでとうございます。私が院長に就任してもう 6 回目のお正月を迎えた。私がこの病院に赴任したのは八日市病院と比良病院が統合され滋賀病院となり呼吸器外科が設立された平成 12 年 12 月 1 日です。その後、平成 16 年度からは独立行政法人化され、そして今回、平成 25 年 4 月 1 日から「独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター」に名称変更となり 320 床の中核病院となりました。現在も旧病棟解体、駐車場整備等で平成 26 年 5 月まで工事は続いているが、ここではセンター設立以来の状況と課題について整理したいと思います。

1) 職員の確保

平成 22 年 6 月 18 日に締結した「寄附講座の設置に関する協定」によって医師派遣が滋賀医科大学から開始され、12 人まで減少していた常勤医師数は平成 25 年度になり 37 人まで増加しました。診療機能の増強により休棟中（平成 19 年 10 月、平成 20 年 5 月）の 2 病棟も再開棟でき、入院・外来患者数も平成 16 年度当時まで回復してきました。現在 25 診療科を標榜しており、平成 25 年 10 月 14 日からは「心臓血管外科」を、平成 25 年 11 月 14 日からは「精神科」外来も開始しました。しかしこの 2 診療科を含め、非常勤医師の外来部門（脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理診断科、血液内科）が多く、入院診療の充実までは果たせていません。また定数 14 名の寄附講座医師もまだ 10 名しか確保できており、今後の課題となっているほか、1 人常勤、特に麻酔科は手術数の増加により定期手術どころか緊急手術にも対応できていない現状がありますので、何としても増員しなければなりません。同様に看護師・助産師の確保も苦労しました。休棟中の病棟を 1 年ごとに（平成 23 年 5 月、平成 24 年 4 月）再開棟しなければ確保できなかったと思います。また他の国立病院機構からの看護師派遣にも感謝しています。コメディカルの定数も増やしていただき、増加する 2 次救急対応も可能になってきていますが、まだまだ不足しています。

2) 電子カルテ稼働

平成 25 年 10 月 1 日から電子カルテの完全稼働を行いました。オーダリングもなかった状態からの稼働には苦労しましたが、やっとみんな慣れてきました。また同時に遠隔病理診断・遠隔画像診断等の IT 化も行いましたので情報の共有に役立っていくと思います。

3) 救急医療の充実

救急科を独自に設立し職員一同の協力により、病院の衰退期には年間で 130 台の実績でしたが、現在は 1 ヶ月に 150 台の救急車を受け入れるようになっています。しかし救急医療のますますの充実のためには、当然ながらまだまだスタッフ不足です。また今後はコンビニ受診対策、敷地内にある地域医療支援センターの 1 次救患者との機能分担が重要になると思います。

4) 広域地域医療支援センター併設(IT ネットワーク整備)

当院の敷地内に休日急患診療所、三方よし、三師会等が入居する広域地域医療支援センターが平成 25 年 9 月に同時オープンしました。今後は東近江医療圏域を含む滋賀県全体での IT 化による情報連携も行っていく予定です。また医師会の先生方にご協力いただき open bed (開放型病床) の登録を開始しました。医療情報の IT 化も推進していますので、これまで通り顔の見える連携に加えて正しく早い情報の伝達と利便性を得られると思います。

5) スキルスラボ設立

旧手術室を改修しスキルスラボを設立しました。現在、トレーニング機器の選定に入っています、平成 26 年 4 月からの使用開始を目指しています。スキルスラボは医療関係者や介護者にも広く利用していただきたいと思い充実した内容を目指しています。

6) 24 時間保育・病児保育の設立

平成 25 年度から念願の 24 時間保育・病児保育の開始を実現しました。子育て中の職員が安心して働ける職場環境となっています。

7) 病院機能の充実

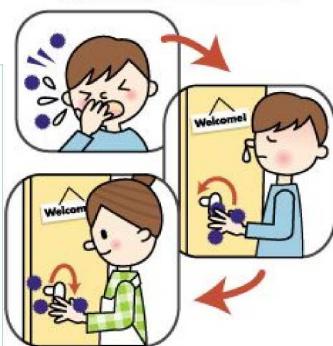
まだまだ医師をはじめスタッフ不足は解消されていませんが、一歩ずつ着実に前進して真の中核病院としての機能を果たせるよう、また地域の皆さんに信頼され、そして職員にもやりがいのある病院作りをしていきたいと思っております。どうぞ今年もご支援の程、宜しくお願ひいたします。



感染防止コーナー

寒い日が続きます。冬はインフルエンザやノロウイルス感染症など、ウイルスが原因となる感染症が流行しやすい時期です。インフルエンザは乳幼児や高齢者、持病のある方がかかると重症になりやすいと言われています。

下のグラフのように毎年1月～3月(第1週～第13週)に、インフルエンザが流行しています。今回はインフルエンザについてお話しします。



滋賀県でのインフルエンザ発生動向

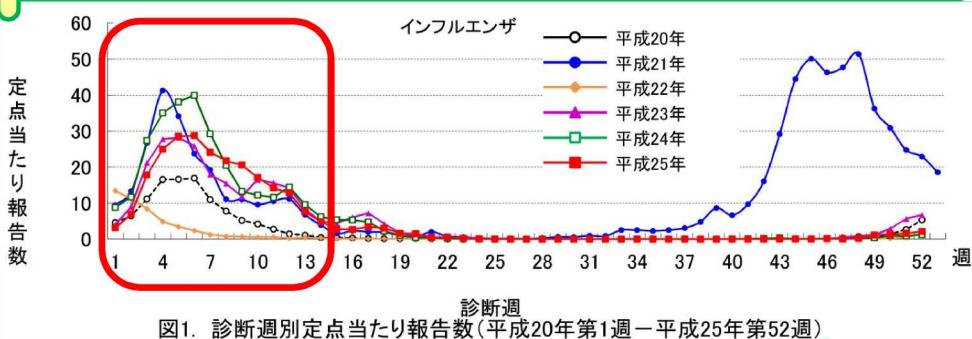


図1. 診断週別定点当たり報告数(平成20年第1週～平成25年第52週)



インフルエンザとは？

1～4日間の潜伏期間の後、右欄のような症状が出現します。流行期にこれらの**症状があれば80%がインフルエンザ**であると言われています。

インフルエンザ迅速検査の説明を少し…。**感度は62%**(罹患している人を正しく陽性と出す割合)、特異度は98%(罹患していない人を正しく陰性と出す割合)です。流行期に典型的な症状がある場合、**迅速検査で陰性と出ても陽性である可能性**は捨てられませんのでご注意を！

インフルエンザとかぜの違い

	インフルエンザ	かぜ
原因	インフルエンザウイルス	主にライノウイルス
症状の出方	急激	ゆっくり
症状	全身症状	上気道(せき、はな、のど)症状が主
関節痛、筋肉痛	強い	弱い
倦怠感	強い	弱い
発熱	38℃～40℃	なし、あっても微熱程度
合併症	肺炎、脳症など	まれ
ワクチン	あり	なし



- 正しいマスク装着方法
- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴム紐を耳にかける
- フィットするように調節する
- 効果の無いマスクの装着の例

インフルエンザの感染対策

～咳エチケットと飛沫感染対策～

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)による飛沫感染です。**飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。**

しかし、インフルエンザウイルスに感染した場合、**感染者全員が高熱や急性呼吸器症状を呈してインフルエンザと診断されるわけではありません**。たとえ感染者であっても、全く症状のない不顕性感染例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症例も少なくありません。

したがって、インフルエンザ対策としては、普段から皆が**咳エチケット**(①咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、②咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをする、③手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うこと等)を守り、**患者さんに実践できるよう説明することが大切です。**

飛沫感染対策ではマスクは重要ですが、感染者がマスクをする方が、感染を

第6回CPCを開催しました

1月16日（木）午後5時30分よりきらめきホールにて東近江医師会との共催で滋賀医大も参加し下記のとおり実施しました。

(テレビ会議システム利用)
記

「ALSを同胞にもつ進行性核上性麻痺の一例」

症例提示：東近江総合医療センター
 神経内科 出原 亮
病 理：滋賀医科大学病理学講座
 分子診断病理学部門准教授
 向所 賢一
座 長：東近江総合医療センター
 内科診療部長 前田 憲吾



<東近江医師会共催>



第18回市民公開講座を11月17日(日)に八日市駅前アピア4Fアピアホールにて開催しました。

①呼吸器内科和田医長「最近動くとすぐ息切れが～COPDって何に？」



②循環器内科大西医長
「時々脈が乱れるけど放っておいていいの？」

③消化器内科酒井医師 「健診で便潜血陽性と言わされたら！」



90名近い方に参加いただき、活発な質疑も交え、盛会のうちに終了しました。

次回は外科系のテーマを中心 に3月に開催の予定です。是非ご参加ください。

市民のみなさまを対象に健康相談を行いました

実施内容：身長・体重、血圧、体脂肪、骨密度、看護相談、栄養相談



11月3日（日） パサージュ 会場：本町商店街



11月10日（日） 御園地区秋祭り 会場：御園小学校体育館



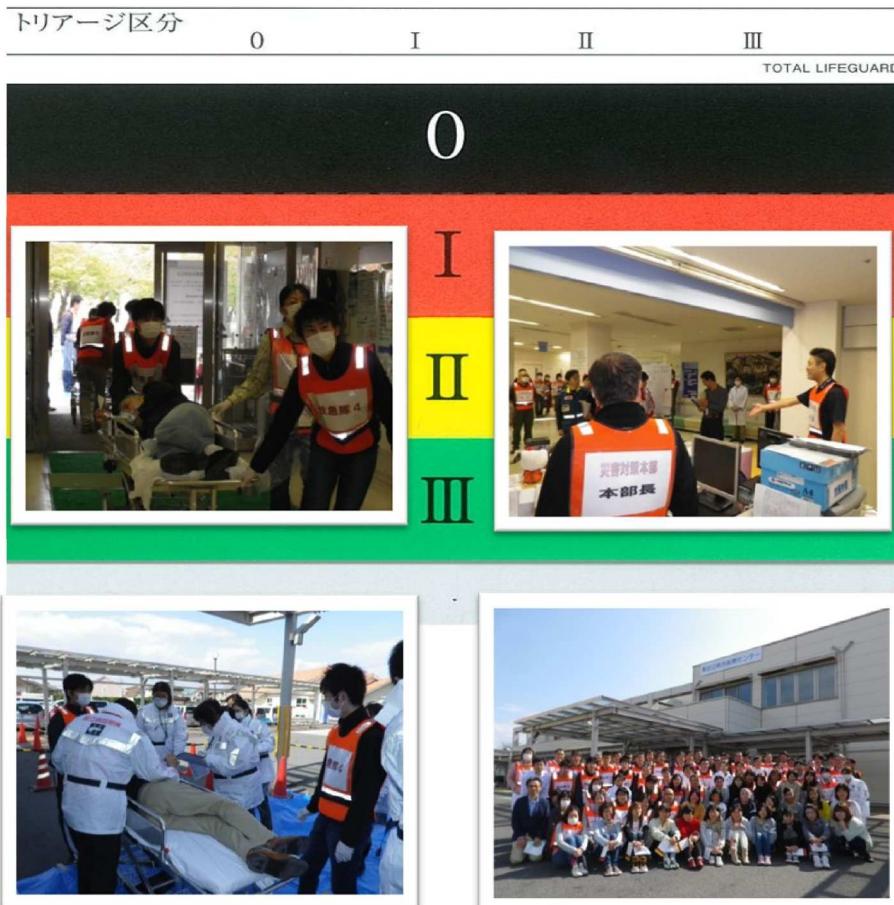
12月1日（日） 東近江市健康フェア 会場：アピア



近畿2府7県合同防災訓練

傷病名

心肺停止、気道熱傷、腹腔内出血、クラッシュ症候群、骨盤骨折、
 心タンポナーゼ、頭蓋内出血、大量気胸、両側大腿骨骨折、全身熱傷
 70%、左前腕骨骨折、前頭部打撲、両下肢切傷　他



平成25年度近畿2府7県 合同防災訓練が昨年10月27日(日)当院にて実施されました。

鈴鹿西縁断層帯を震源とする直下型大規模震災の想定した訓練で、具体的には東近江地域で震度6強を観測し、建物の倒壊、火災発生、液状化発生、ライフライン等の破損等があり多数の死者が発生し、一部地域では大雨による河川の氾濫が生じていいという想定です。

当院が被災地病院として県外DMAT(名張市立病院、伊勢赤十字病院、市立四日市病院)とともに被災者の支援訓練を実施しました。当日は医師、看護師をはじめ100人以上の参加者により真剣な訓練が行われました。

外来担当医表 平成26年1月10日～

曜日	月	火	水	木	金	備考
診療科 神経内科 (診察室①)	前田 憲吾	出原 亮	前田 憲吾	出原 亮	前田 憲吾	●循環器内科、月曜の診察受付時間 8:30～11:00 ●原爆健診 月・水・木・金(13:30～15:00)【予約制】 ●心エコー(月～金、検査科) ●心臓ベースメーカー外来(火曜 午後 月1回不定期開催) ※完全予約制 ●血液内科は完全予約制
総合内科 (診察室②)	辻川 知之	杉本 俊郎			杉本 俊郎	
消化器内科 (診察室③)	水田 寛郎	藤井 誠	辻川 知之	五月女 隆男	酒井 滋企	
呼吸器内科 (診察室④)		和田 広 (呼吸器内科)	仲川 宏昭 (呼吸器内科)	和田 広 (呼吸器内科)		
血液内科 (診察室⑤)	一	一	一	奥野 貴史 (午後)	一	
循環器内科 (診察室⑥)	只野 雄飛	田中 妥典	大西 正人	田中 妥典	大西 正人	
糖尿病/内分泌 (診察室⑧)	前野 恒宏 (糖尿病・内分泌)		前野 恒宏	杉本 俊郎 (糖尿病・リウマチ・腎臓)	前野 恒宏 (糖尿病・内分泌)	
内科初診担 内視鏡検査	(辻川 知之)	(杉本 俊郎)	(前野 恒宏)	(田中 妥典)	(杉本 俊郎)	
午前 1 診 前 2 診	五月女 隆男 酒井 滋企 藤井 誠	一	五月女 隆男 酒井 滋企 藤井 誠	一	辻川 知之 藤井 誠	●胃カメラ(月/水/金 午前) ●大腸ファイバ(月/水/金 午後)
小児科 午後 専門外来 1か月健診 予防接種	田中 政幸 赤堀 史絵 木下 典子 田中 政幸 赤堀 史絵 一	田中 政幸 赤堀 史絵 木下 典子 赤堀 史絵 赤堀 史絵	柳 貞英 木下 典子 一 田中 政幸 赤堀 史絵 赤堀 史絵	田中 政幸 赤堀 史絵 木下 典子 田中 政幸 赤堀 史絵 木下 典子	田中 政幸 赤堀 史絵 木下 典子 田中 政幸 赤堀 史絵 木下/田中	当日11:30から予約受付 てんかん・発達障害・アレルギー・その他慢性疾患 予約制 予約制
外科1診	瀬戸山 博	来見 良誠	瀬戸山 博	来見 良誠	岡内 博	●人工肛門(第1・3火、午後)
外科2診	一	長谷川 正人	北村 直美	長谷川 正人	長澤 芳信	
乳腺外来	北村 直美 (午前) (予約制)	一	富田 香 (午後) (予約制)	一	一	水曜 14:30～(予約受付時間 13:00～15:00)
整形外科	安藤 厚生 彌山 峰史	菊地 克久	森 幹士 菊地 克久	安藤 厚生	菊地 克久	※水曜日受付は11時迄です。
脳神経外	一	井上 卓郎	一	一	平井 久雄	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。
呼吸器外科 1	北村 将司	井上 修平 (初診優先)	上田 桂子	井上 修平 (初診優先)	北村 将司	●気管支鏡(月～金 午後)
呼吸器外科 2	尾崎 良智	大塩 恭彦	尾崎 良智	大塩 恭彦	大内 政嗣	
心臓血管外 科		白石 昭一郎				
皮膚科	鵜飼 佳子 第1週 〔藤井 紀和〕	鵜飼 佳子 第1.5週 〔中西 健史 第2.3.4週〕	鵜飼 佳子	鵜飼 佳子	鵜飼 佳子 (予約制)	金曜日は予約再診のみ
泌尿器科	一	吉田 哲也 (予約制)	一	水流 輝彦 (予約制)	一	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。 ※木曜日のみ、受付は11時迄です。
産婦人科 1 診	三ツ浪 真紀子	井上 貴至	井上 貴至	山中 章義	三ツ浪 真紀子	初診・予約外再診は1診にて10時から診療 ※但し木曜日のみ9時から 2診は予約制
産婦人科 2 診	井上 貴至	三ツ浪 真紀子	三ツ浪 真紀子	井上 貴至	井上 貴至	※子宮頸がんワクチン予防接種(火曜 16:00～16:30 完全予約制)
眼科	須賀 美保子	須賀 美保子	澤田 智子	須賀 美保子	須賀 美保子	水曜 手術日 ※水曜 外来受付は11時迄です。
耳鼻咽喉科	一	松本 晃治	一	一	加藤 智久	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。 ※受付は11時迄です。
放射線科	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	●放射線治療(月～金、午前・午後) ●胃透視・注腸検査(木) 午前 ●R I (月・木) ●血管造影(火・午後)
歯科 口腔外科	堤 泰彦 古川 康平	(交代) 手術日	堤 泰彦 古川/山本	堤 泰彦 古川 康平	堤 泰彦 古川 康平	山本医師は第1週のみ

(初診) 午前8時30分～午前11時30分
(受付機) 午前7時30分～午前11時30分
(ただし、上表の備考欄に記載の診療科を除く)

独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター

TEL 0748 (22) 3030

編集後記

明けましておめでとうございます

外来改修工事は終わり、いよいよ旧棟の取り壊し工事が始まります。

入院患者様には(防音シートや目張りはしてますが)騒音や、埃でご迷惑をおかけするかもしれません。

また、旧棟が無くならなければ駐車場も広がらず、今しばらくは外来患者様にも、先生方にもご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願い申し上げます。

インフルエンザもノロウィルスも、例年にもまして流行しています、当院もノロウィルス感染者の入院が相次いでおります。感染防止が一番ですので、患者様への手洗い、マスク、咳エチケットのご指導よろしくお願い申し上げます。